

新しいつながりで活動を再開させ助け合う町づくりを

小菅ヶ谷地区の皆さまには、日頃より小菅ヶ谷地区社会福祉協議会の活動にご理解、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年度は役員交代年度に当たりまして総会を経て会長及びその他役員も一部交代となりました。新しい体制にて課題に取り組んで参ります、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて本年度の活動事業はここ数年私たちが苦しめてきたコロナウイルスが2類感染症から5類感染症に移行し感染数も大幅に減りました。マスク装着も個人の判断に委ねられることになった中での展開となります。具体的にはここ数年計画準備していても

中止せざるを得なかった、地区ごとの「高齢者懇談会」や大勢の皆様にご参加いただきました「敬老のつどい」もやっと再開できる状況になりつつあります。とはいえ決してコロナウイルスは収束したわけではありません。とくに高齢者の方には接種券も配布されている状況ですのでスタッフ一同慎重に状況を判断しながら進めてまいります。従いましてイベント時の室内会食はもう少しお待ち頂き、またマスク装着をお願い申し上げます。これら感染予防に配慮しながら活動の復活を目指し、下記今年度の事業を展開し助け合う町づくりを目指して参ります。

会長 十亀 聡

令和5年度事業

令和5年度予算書

単位：円

- 地域福祉を推進するための調査及び研究
 - ・在宅の高齢者(70歳以上)の実態把握
- 地域福祉を推進するための事業の企画及び実施
 - (1)高齢者並びに障がい者福祉のための活動
 - ・見守りを兼ねた配食サービス及び高齢者懇談会(いちご会事業)
 - ・中途障がい者及び障がいのある高齢者の交流会活動(実菅会事業)
 - ・敬老の集い開催(文化事業)
 - 9月16日(土)14時～ 栄公会堂(タッチーランド)
 - ・敬老記念品の贈呈
 - (2)地域福祉や地域の困りごとや課題をテーマに研修会を開催
 - ・「子育て支援や次世代育成」
 - ・「災害時に関する取り組み」
 - ・「地域の支え合いに関すること」など
 - (3)青少年育成活動や児童福祉の活動支援
- 地域住民の健康づくりを推進するための団体・機関との連携を図り地域住民の健康寿命延伸の支援をします。
- 栄区社協との共催事業「栄区フードパントリー」「地域移動販売支援」などの福祉活動への積極的な取り組み。
- 福祉活動に取り組んでいるボランティア団体との連携を深め活動を支援します。
- 会報「小菅ヶ谷地区社協だより」の発行
- 小菅ヶ谷つながるプラン推進会議に参画し、計画推進に取り組めます。
- 小菅ヶ谷連合町内会自治会との連携
- 賛助金の募集
- 栄区社会福祉協議会との連携
- 本会の目的達成のために必要な事業の実施

＜収入の部＞		
項 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	719,276	
区社協他補助金・助成金	200,000	区社協、市社協、連合町内会
町内会・自治会からの賛助金	840,000	
町内会・自治会からの分担金	300,000	
区社協賛助会費還元金	20,000	あいタク事業助成金
そ の 他	0	預金利子他
合 計	2,079,276	
＜支出の部＞		
事 業 費	1,360,000	敬老のつどい(会場費他) 350,000 敬老記念品 500,000 実菅会 140,000 いちご会 290,000 あいタク事業助成金 50,000 自主研修費 30,000
広 報 費	90,000	地区社協だより3回発行
調査・研修費	20,000	研修参加費
事 務 費	60,000	印刷費・通信費・事務用品費他
会 議 費	10,000	定例会お茶代
渉 外 費	50,000	慶弔費・行事参加費
助 成 金	105,000	民生委員、保健活動、つながるプラン、ひだまり、ルビナス 他
会 費	7,000	区社協、交通費
予 備 費	377,276	(翌年度繰越金)
合 計	2,079,276	

令和4年度の主な活動報告

《コロナ禍の落ち着きと社協活動》

残念ながら令和4年度も「敬老の集い」は中止となりましたが、その分の予算を上乗せし、厚みのある柔らかいタオルを選んで、敬老記念品として70歳以上の2,575名の方にお配りいたしました。

感染状況をみながら、いちご会は対策を講じつつ配食サービスを行い、高齢者懇談会を除き予定通りの活動を行う事が出来ました。また、実菅会はあいタクの活用で便宜を図りつつ予定通り活動しました。

《地区社協だよりの発行》

例年通り年3回発行いたしました。(全戸配布)

◆第34号 令和4年6月1日発行

内容:令和3年度総会報告、令和3年度事業報告、令和3年度決算報告、令和3年度事業計画および予算、3年度役員紹介

◆第35号 令和4年11月1日発行

内容:「第3回栄区フードパントリー」開催報告
「地域ケアプラザ」事業、利用紹介
「あいタク利用」「シニアクラブ友愛活動」の紹介

◆第36号 令和5年3月1日発行

内容:認知症の人にやさしい街をめざして
「ぬくもりこそがや」「ひだまり20周年」
「よこはま地域フォーラム」の紹介
小菅ヶ谷地区民生委員改選新人委員の紹介

《令和5年度小菅ヶ谷地区社会福祉協議会役員》

役員	名前
会長	十亀 聡 (栄区体育協会理事)
副会長(東部)	久家 明夫 (小菅ヶ谷第一町内会会長)
副会長(中部)	岩崎 博子 (市営小菅ヶ谷住宅自治会会長)
副会長(西部)	田中 久美子 (小菅ヶ谷地区民児協会長)
会計	小泉 邦広 (青少年指導員協議会副会長)
事務局長	野村 伸子 (小菅ヶ谷地区民児協副会長)
理事	池谷 圭子 (民生委員児童委員 いちご会担当)
理事	倉田 由木 (市営小菅ヶ谷第二住宅自治会会長)
理事	前田 泰男 (スポーツ推進委員連絡協議会会長)
理事	佐野 光生 (保健活動推進員会副会長)
理事	田中 伸一 (栄区シニアクラブ連合会副会長)
理事	涌井 秀治 (小菅ヶ谷第一町内会計)
監事	田中 稔 (シニアクラブ爽和会会長)

新しい役職やメンバーを迎えています。よろしくお願いいたします。

《他団体との連携》

- ・小菅ヶ谷連合町内会自治会活動に協力いたしました。
- ・「小菅ヶ谷つながるプラン推進会議」に参画しました。
- ・栄区社協「地区社協分科会」に参加し、他の地区社協との情報交換・連携に努めました。

小菅ヶ谷地区社協福祉賛助金にご協力いただきましてありがとうございました。おかげさまで、コロナ禍におきましても当地区では様々な福祉活動を可能な限り活発に行うことができました。下記の通り決算報告いたします。

《令和4年度収支決算書》

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日 単位:円

＜収入の部＞			
項目	予算額	決算額	摘要
前年度繰越金	815,525	815,525	
区社協他補助金・助成金	225,000	170,000	区社協、市社協、
町内会・自治会からの賛助金	840,000	808,740	
町内会・自治会からの分担金	300,000	291,650	
区社協賛助会費還元金	0	20,000	あいタク事業助成金
その他	0	7	預金利子他
合計	2,180,525	2,105,922	
＜支出の部＞			
事業費	1,210,000	1,111,292	敬老記念品(タオル) 801,900 いちご会(前期分のみ) 145,000 実菅会 140,000 あいタク事業 20,000 振込手数料など事務費 4,392
広報費	100,000	72,890	地区社協だより 年3回発行
調査・研修費	20,000	6,000	研修参加費
事務費	60,000	47,892	印刷費・通信費・事務用品費他
会議費	10,000	12,572	定例会お茶代 他
渉外費	50,000	26,000	慶弔費・行事参加費 他
助成金	105,000	105,000	民生委員、保健活動、つながるプラン、ひだまり、ルピナス 他
会費・他	7,000	5,000	区社協、交通費
予備費	618,525	719,276	(次年度繰越)
合計	2,180,525	2,105,922	

令和5年度

「賛助金」のお願い!

地域福祉活動をさらに充実するために、地域の皆様のご協力が欠かせません。本会の趣旨にご理解いただき、今年度も賛助金のご支援をお願い致します!

令和5年度の地区社協の活動内容が決まりました。本年はコロナ前の活動に戻れるよう、各活動とも工夫を凝らして進めていきたいと思っております。みなさまのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。 役員一同